



八瀬の流れ

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和4年11月28日 発行
第 8 号

「ならぬことは ならぬものです」

保護者の皆様、地域の皆様、上記の「ならぬことは ならぬものです」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

これは、会津若松市にある江戸時代の会津藩の藩校、日新館の教えである「什の掟（じゅうのおきて）」の結びに使われている言葉です。「什の掟」については、修学旅行に行くと、必ず子供たちが話を聞いてくるものです。

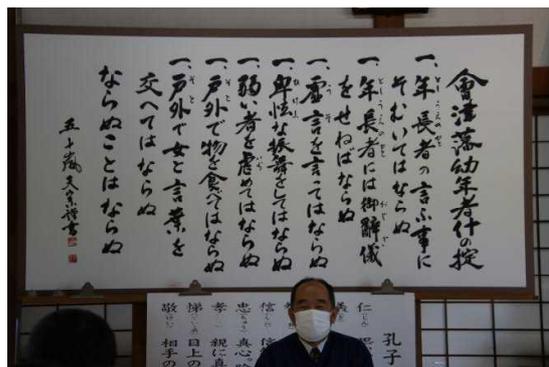
会津藩士の子供たちは、地区ごとに「什（じゅう）」というグループが決められていて、6歳から9歳までの子供たちが、この「什」に属していたそうです。基本的に遊びも勉強も、この「什」のグループで一緒に行っていたようですが、「什の掟」とは什の中のルールで、毎日最年長である什長がこれを唱和し、メンバーがきちんと守れているかどうか、確認していたのだそうです。

什の掟は、下記の七つです。

- 一 年長者の言うことに背いてはなりません
- 二 年長者には御辞儀をしなければなりません
- 三 虚言を言う事はなりません
- 四 卑怯な振舞をしてはなりません
- 五 弱い者をいじめてはなりません
- 六 戸外で物を食べてはなりません
- 七 戸外で婦人と言葉を交えてはなりません

これに「ならぬことは ならぬものです」を付け加えたものが「什の掟」と言われているものです。

子供たちが成長する上で欠かせない考え方（今の時代にそぐわないものも一部ありますが…）などを、幼い内にしっかり教え込み、正しい価値観を身に付けさせ、人間として正しく成長させよう願ってのものだそうです。



世の中を見渡してみると、自分勝手な振る舞いにより、様々な迷惑行為をしている人たちの報道が絶えません。とても残念なことです。物事には理屈抜きで許されないことがたくさんあります。集団で生活する上で、ルールを守ることや身に付けておくべき価値観などがあります。学校は社会に出る前に、それらを学び、身に付けさせる場なのではないかと私は思っています。

温かい指導を前提としつつも、厳しさをもって指導していかねばならない場面もあろうかと思えます。また、御家庭においても、厳しさをもって躡けていただくことが必要な場面もあるのではないかと思います。子供たちへの愛情をもって、そして、子供たちの健やかな成長を願って子供たちと関わっていきたいと思っています。

「ならぬことは ならぬものです」

月立っ子ギャラリー



今月の月立っ子の様子を御覧ください。
また、ホームページでは、学校の様子をほぼ毎日更新しています。そ
ちらもどうぞ御覧ください。

<http://www.kesenuma.ed.jp/tsukidate-syou/>



やまびこ杯争奪少年フットサル大会 出場選手でパチリ



1・2年生 外でお弁当



1・2年生 軽トラ市 みんなでいもほり音頭



1・2年生 軽トラ市 サツマイモ販売



3・4年生 そばの収穫



5・6年生 唐桑小学校との交流

子供たち、元気に頑張っています。これからも子供たちの応援をお願いいたします。